

ふじえだ ^{イクジィ} 育G 応援プロジェクト その9

核家族化や女性の社会進出、地域社会の希薄化などにより、孤立してしまう「子育て」。
 そうした中、今、期待されているのがじいじ・ばあばが持つ「祖父母力」です。
 このコーナーでは「孫育て」という視点から、皆さんに役立つ情報をお届けします。

※「育G」とは、育児に積極的な「Grandfather」「Grandmother」の略称です

育Gへ孫育て アドバイス

ありがとう、ごめんなさいを言う

子どもは、大人の振る舞いを見て、真似て、育っていきます。
 子や孫に、「ありがとう」「ごめんなさい」を言える子に育て
 ほしければ、私たち大人がその行動を見せることです。

娘さん、息子さん、そして夫婦の間では、言わなくても
 わかってくれている、わかってほしいと、言葉にせず済ませ
 てしまっていることが多々あります。でも、「言わなくても
 わかる」ことなど、ありません。

特に「ごめんなさい」は、自分の過ちを認め、相手に謝罪

をする、とても勇気のいる行動です。

孫は、あなたの振る舞いをよく観察していますよ。ごま
 かすのではなく、自分が悪いと思ったときには、誠心誠意、
 謝りましょう。

皆さんがお子さんやお孫さん
 のお手本であること、忘れない
 てくださいね。



イラスト:Hina

アドバイザー

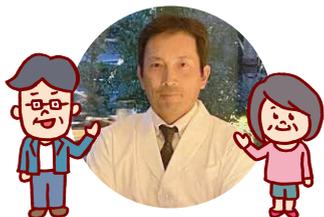
ぼうだ あきこ

NPO法人孫育て・ニッポン理事長

自身の出産後、子どもや家庭の状況にあわせて、育児雑誌や新聞等への執筆、育児サイトの立ち上げ・運営、
 企画会社などで活躍。2011年NPO法人孫育て・ニッポンを設立。全国各地で「孫育て講座」や行政との共同
 プロジェクトを行う。また、産後ケア、多世代交流を中心としたまちづくりなどの調査、研究に携わる。孫一人。

地元の育G リレーコラム

孫が周りに自慢できるおじいちゃんに



今月の育G

三浦 和幸さん (54歳)

職業:和菓子職人

住所:市内駿河台

孫 :女の子(2ヵ月)

孫に初めて逢えたのは、退院して実家に帰ってきてから。自分の子どものときに
 経験しているはずなのに、あまりにも小さくて驚いた。可愛いのは確かだが、週末に
 しか逢えないこともあり、自分がおじいちゃんになった実感はまだない。もう少し
 時間とコミュニケーションが必要なのかもしれない。ただ、病気にでもなったら大変
 なので、いつも以上に丁寧に手を洗ってから接するようにしている。いつまでも一緒に遊べる関係でいたいので、体力維持を
 心掛けたい。年を取っても元気に動ける姿を見せて、孫が周りに自慢できるおじいちゃんになりたいと思っている。

自慢の孫フォト



桜菜(らな)ちゃん

藤枝市からの子育て情報



まちの保健室 (助産師、看護師による相談会)

育児や子どもの成長・発達に関すること、授乳のこと、産後メンタルケアなどについて、
 助産師や小児病棟の看護師に気軽に相談できます。個室での相談もできますので、
 ぜひ、ご利用ください。 ※直接会場へ ※お子様連れで参加できます

とき 7月10日(土) 10:30~14:30 **ところ** 藤枝おやこ館(BiVi藤枝2階)

藤枝おやこ館
webページ



感想募集中



こちらのQRコードへ
 アクセスしご覧いただいた
 感想をお寄せください♪